

科目名称：	中国語 I	
担当者名：	王 玉	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>中国語Ⅱと合わせて中国語の基礎を学習し、その背景にある知識（中国事情）を垣間見る。この過程を通して、中国語による初歩的コミュニケーション能力を身に付けていきます。毎回の授業は、下記4つの項目を基本とします。</p> <p>1) 発音 音節、アクセント、ローマ字表記など、2) 字句 簡体字（公式の略字）、常用の語句など、3) 文法 基本文型の語順のみ、4) 知識 中国の地理、風習、料理など</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>①ピンインを学び、ピンインを見たら正しく発音をすることができるようになる。②常用の語句を自然に口をつけて出てくるよう練習する。③中国語の基本的な文型について理解し、中国語的な語順で話したり、書いたりできるようになる。</p>		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP (2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP (3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP (4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP (1)					0
ビジネスDP (2)					0
ビジネスDP (3)	60		30	10	100
ビジネスDP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 ガイダンス：電子黒板で中国語の概要と漢字の歴史(簡体字とピンイン)を紹介。準備学習時間：120分	練習用ノートを2冊用意すること	120分
第2回 中国語の発音：ピンインとアクセント 準備学習時間：120分	習った発音を繰り返し練習する。	120分
第3回 発音の練習：単漢字、語彙、挨拶語(1) 準備学習時間：120分	発音が難しい単漢字・単語をノートに書き、次回フィードバックする。	120分
第4回 発音の練習：語彙、挨拶語(2) 準備学習時間：120分	発音が難しい単漢字・単語をノートに書き、次回フィードバックする。	120分
第5回 発音の練習：語彙、挨拶語(3) 準備学習時間：120分	発音が難しい単漢字・単語をノートに書き、次回フィードバックする。	120分
第6回 発音の練習：挨拶語(4)、疑問文(1) 準備学習時間：120分	発音が難しい単漢字・単語をノートに書き、次回フィードバックする。	120分
第7回 常用の語句：挨拶語(5)、疑問文(2) 準備学習時間：120分	発音が難しい単漢字・単語をノートに書き、次回フィードバックする。	120分
第8回 疑問詞疑問文：「吗」のない疑問文 準備学習時間：120分	「说(言う)の予習と「写(書く)の練習をし、次回フィードバックする。	120分
第9回 基本文型：形容詞述語文/限定語 準備学習時間：120分	「说(言う)の予習と「写(書く)の練習をし、次回フィードバックする。	120分
第10回 基本文型：動詞述語文(1)/是 準備学習時間：120分	「说(言う)の予習と「写(書く)の練習をし、次回フィードバックする。	120分
第11回 基本文型：存在・所有/有 準備学習時間：120分	「说(言う)の予習と「写(書く)の練習をし、次回フィードバックする。	120分
第12回 グループワークで基本文型(名詞述語文：時間・日付)を学習し質問しあう。準備学習時間：120分	これまで習った挨拶語、質問文などを使って復習に当たる。	120分
第13回 基本文型：動詞述語文(2)/常用動詞 準備学習時間：120分	「说(言う)の予習と「写(書く)の練習をし、次回フィードバックする。	120分
第14回 基本文型：動詞述語文(3)/助動詞 準備学習時間：120分	「说(言う)の予習と「写(書く)の練習をし、次回フィードバックする。	120分
第15回 まとめ、既習内容の達成度を確認する 準備学習時間：120分	発音と文法のまとめをノートに書く。	120分
事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、次回までの予習プリントをまとめることになる。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、60%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。 定期試験以外に、毎回の練習・課題30%、授業への貢献・授業内での回答状況を10%で評価する。		
課題に対するフィードバック		
回収した課題を点検・添削し、次回の授業で個人に返却し、共通した問題点を説明したり、全体の分析をしたりして理解を深めさせる。		
教科書・参考書		
「中国語 はじめの一步」 竹島金吾監修 尹景春・竹島毅著 白水社 2017年12月		